



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貴 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	17,988	△1.2	861	192.7	1,000	103.6	786	167.7
28年3月期第1四半期	18,208	△2.2	294	—	491	—	293	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △246百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 148百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	7.50	—
28年3月期第1四半期	2.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	106,990	59,433	55.1
28年3月期	107,312	59,946	55.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 58,985百万円 28年3月期 59,483百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	△0.5	1,000	19.6	1,400	15.5	1,000	17.5	9.53
通期	71,000	0.8	1,500	20.4	2,200	4.1	1,600	40.5	15.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	111,452,494株	28年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	6,489,466株	28年3月期	6,485,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	104,966,153株	28年3月期1Q	104,980,956株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気の弱さが見られるものの、企業収益は高い水準で横ばいとなり、個人消費もおおむね横ばいが続いたため、緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、熊本地震の今後の経済に与える影響懸念や、海外においては、英国がEU離脱を決定したことによる金融市場の混乱や、中国を始めとするその他新興国経済の景気減速等で世界経済の弱さが見られるなど、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、今年度は山村グループにおいて、「続・反転攻勢」をキーワードとして掲げ、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでいく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業のセグメント売上高は、前年同期比で微増の12,772百万円（前年同期比0.1%増）と増収となりました。当社ガラスびんカンパニーの減価償却費等の固定費の増加はありましたが、供給量確保のため休日稼働をしたことによる生産増の増益要因や、燃料価格が引き続き安定したことに加え、秦皇島方圓包装玻璃有限公司の業績が改善したことにより、セグメント利益は507百万円（前年同期比400.2%増）と増益となりました。

## ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、かねてより開発に取り組んできました大容量ボトルのディーブグリップボトル（把手とボトルが一体成型されたボトル）を上市しましたが、撤退した既存ペットボトルの在庫販売が前年同期にあった影響等により、セグメント売上高は1,607百万円（前年同期比8.5%減）と減収となりました。セグメント利益は、プラスチックキャップの生産増による増益要因や、原料価格が下落したことに加え、海外子会社の業績が改善したこと等により、168百万円（前年同期比425.7%増）と増益となりました。

## ③ 物流関連事業

物流関連事業では、前期から当第1四半期にかけて、取引先の業務再編の影響により営業所の統廃合が増えたため、セグメント売上高は2,287百万円（前年同期比11.8%減）と減収となりました。セグメント利益は、コスト削減に努めてきましたが、新規業務立ち上げによる初期費用の負担増等により、△8百万円（前年同期は30百万円）と減益となりました。

なお、4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村ロジスティクス株式会社を分割承継会社とする会社分割（吸収分割）を行っております。

## ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、山村フォトニクス株式会社の光通信用部品を中心に堅調に推移したため、セグメント売上高は1,321百万円（前年同期比20.2%増）と増収となりました。セグメント利益は、人件費や減価償却費等の固定費の増加はありましたが、販売増並びに生産増による増益要因があり、138百万円（前年同期比77.7%増）と増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は17,988百万円（前年同期比1.2%減）と減収となりました。連結営業利益は861百万円（前年同期比192.7%増）と増益となり、持分法による投資利益は259百万円（前年同期比1.1%減）となったため、連結経常利益は1,000百万円（前年同期比103.6%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、786百万円（前年同期比167.7%増）と増益となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,061	14,353
受取手形及び売掛金	19,739	20,913
商品及び製品	6,637	6,329
仕掛品	281	304
原材料及び貯蔵品	2,772	2,949
その他	2,035	1,533
貸倒引当金	△70	△71
流動資産合計	45,457	46,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,489	8,282
機械装置及び運搬具（純額）	9,540	9,423
工具、器具及び備品（純額）	682	714
土地	10,333	10,333
建設仮勘定	1,299	1,192
有形固定資産合計	30,345	29,946
無形固定資産		
のれん	1,864	1,732
その他	1,786	1,675
無形固定資産合計	3,651	3,408
投資その他の資産		
投資有価証券	4,437	4,489
関係会社株式	21,795	21,204
退職給付に係る資産	1,117	1,086
その他	527	560
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	27,858	27,322
固定資産合計	61,855	60,677
資産合計	107,312	106,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,159	8,920
短期借入金	10,111	10,057
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	449	216
賞与引当金	587	340
役員賞与引当金	15	7
環境対策引当金	0	22
その他	5,621	5,787
流動負債合計	26,046	25,452
固定負債		
社債	1,800	1,750
長期借入金	12,222	13,096
リース債務	1,614	1,569
環境対策引当金	34	12
退職給付に係る負債	3,231	3,243
繰延税金負債	1,649	1,641
その他	767	789
固定負債合計	21,319	22,104
負債合計	47,366	47,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	27,637	28,161
自己株式	△1,230	△1,231
株主資本合計	57,782	58,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,401	1,430
繰延ヘッジ損益	△263	△233
為替換算調整勘定	1,498	356
退職給付に係る調整累計額	△933	△873
その他の包括利益累計額合計	1,701	679
非支配株主持分	462	447
純資産合計	59,946	59,433
負債純資産合計	107,312	106,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	18,208	17,988
売上原価	14,885	14,108
売上総利益	3,322	3,879
販売費及び一般管理費	3,028	3,018
営業利益	294	861
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	39	58
持分法による投資利益	262	259
その他	148	109
営業外収益合計	452	428
営業外費用		
支払利息	133	118
為替差損	—	62
租税公課	44	28
その他	77	80
営業外費用合計	255	289
経常利益	491	1,000
特別利益		
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産廃棄損	22	2
特別損失合計	22	2
税金等調整前四半期純利益	468	1,003
法人税、住民税及び事業税	83	196
法人税等調整額	107	9
法人税等合計	190	206
四半期純利益	277	796
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	293	786



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	277	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	29
繰延ヘッジ損益	13	30
為替換算調整勘定	△24	△279
退職給付に係る調整額	0	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△260	△830
その他の包括利益合計	△129	△1,042
四半期包括利益	148	△246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163	△235
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,759	1,756	2,592	1,099	18,208	—	18,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	113	2,615	1	2,730	△2,730	—
計	12,759	1,870	5,207	1,101	20,938	△2,730	18,208
セグメント利益	101	32	30	78	242	51	294

(注) 1. セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去等27百万円、その他の調整24百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,772	1,607	2,287	1,321	17,988	—	17,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	125	2,609	2	2,738	△2,738	—
計	12,772	1,733	4,896	1,323	20,726	△2,738	17,988
セグメント利益 又は損失 (△)	507	168	△8	138	806	54	861

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額54百万円には、セグメント間取引消去等29百万円、その他の調整24百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため記載を省略しております。